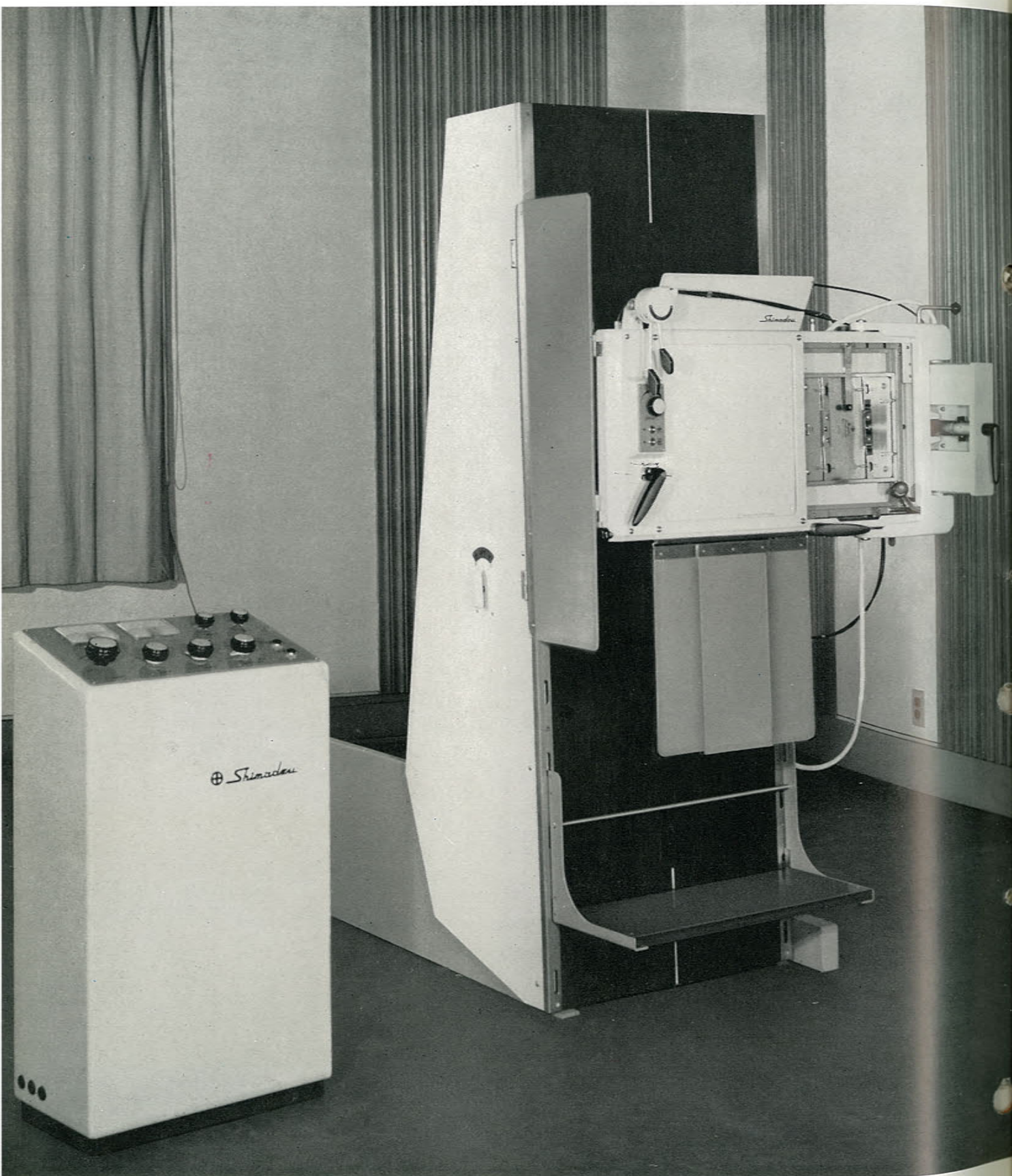


100kVの高電圧撮影により 全科にわたる広範囲の診察が可能

TC100-J



コンデンサ式診察用X線装置

3極X線管による波尾切断

定 格

撮影定格 100kV 0.5 μ F

透視定格 75kV 2mA 連続

コンデンサ式X線装置は、小容量の電源設備で、大形装置と同様の診断効果をあげられるところから、診療所や開業医院においては欠くことのできないものとなっています。しかし装置の小形化にともないコンデンサ容量が小さくなるため、外科などの撮影には半波整流方式を用いていました。そのため操作は複雑となり、また電源容量も大きくなるので、外科などの撮影もできるコンデンサ専用小形装置の出現が、強く要望されていました。当社ではこれにこたえて、新しく3極X線管波尾切断機構をもった、コンデンサ専用X線装置 TC 100-J を完成しました。この装置は撮影時のX線管電圧を 100kV まであげることができますので、コンデンサ方式で全科にわたり、あらゆる部位の撮影を行なうことができます。また 70~80kV 0.5 μ F の定格ではあまり効果のなかった3極X線管波尾切断方式

も 100kV まで電圧をあげることににより、はじめてその真価を発揮することができます。さらに TC 100-J は GS-6 形透視台と組み合わせて、透視・スポット撮影を遠隔操作することができるという画期的なものです。

